

女性委員会セッション

テーマ

和の空間の魅力を探る

『魅力ある和の空間ガイドブック(WEB版)』
制作記念トークイベント

運営 | 女性委員会

近年、人々のライフスタイルが変化する中で、地域の環境に適した伝統的な住まいに暮らす人々が減り続けています。なかでも日本の住まいの中で培われた和室や縁側といった和の空間が無くなりつつあることが危惧されています。このような状況を踏まえ、女性委員会では、「和の空間」について一昨年から取り組み、このたび、『和の空間を体験して、その魅力を再認識できるような建築を紹介するガイドブック(WEB版)』を制作することといたしました。

このガイドブックは、全国各地で公開されている和の空間の事例の中から、「魅力的なもの、これからの居住環境への示唆に富んでいるもの」を、都道府県ごとに数点ずつ選んで紹介します。和の空間を改めて捉え直し、建築士が今後の設計活動、居住環境づくりに

日時...平成30年10月26日(金) 10:00~12:00

会場...大宮ソニックシティ・ビル棟4F
市民ホール 第4集会室

定員...90名(予定)



女性委員会セッションイメージ

活かしていくこと、さらに一般の方々にも全国各地に現存する貴重な建築の魅力を広めることを目的としています。制作を記念するトークイベントを行い、あらためて和の空間の魅力を探ります。

空き家まちづくりセッション

テーマ

空き家等の利活用における 建築士の役割

運営 | 街中(空き家)まちづくり部会

近年の人口減少や住宅の老朽化、社会的ニーズの変化により、利活用されない空き家が増加しており、それが放置され負の遺産化し、地域の環境に悪影響を与えています。そのため、早期に空き家を利活用するか、または除却することが必要です。2017(平成29)年度実施のアンケートによりますと、市町村は、空き家の実態調査、「空家等対策計画」の策定、「空家等対策協議会」の設置などが進められ、建築士が調査や委員として参画しています。また、部会などを設置し空き家問題に取り組んでいる建築士会もあることがわかりました。日本建築士会連合会では、2015(平成27)年度には、空き家相談や実態調査・活用支援を行うためのマニュアルを作成しました。そして2016(平成28)年度には、「空き家問題に対応できる」人材育成を目的に、研修テキストを作成しました。

このような動きを受け、2017年度には熊本県建築士会が熊本県との共催で「空家利活用マネージャー育成講習」を開催されました。

日時...平成30年10月26日(金) 10:00~12:00

会場...大宮ソニックシティ・ビル棟6F
601会議室

定員...78名(予定)



街中(空き家)まちづくり部会セッションイメージ

そして本年度には、大阪府、兵庫県、奈良県などの建築士会が講習を行うこととなっています。また、2017年度に奈良県建築士会が「空き家等対策に関するシンポジウム」を開催されています。

そこで、本セッションでは、アンケートの結果や講習会・シンポジウムでの議論を踏まえ、空き家の利活用を促進するために、建築士(会)がどのような役割を担うべきか、また、どのような知識や技術が求められるかを話し合います。